



## グローバル・ディスラプター成長株ファンド

(資産成長型) / (予想分配金提示型)

### ポートフォリオの概要について

平素は格別のご高配をたまわり、厚く御礼申し上げます。

「グローバル・ディスラプター成長株ファンド」は、2021年4月26日に設定・運用を開始いたしました。当ファンドは日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資する方針です。

当レポートでは、ポートフォリオの状況についてご報告するとともに、組入銘柄についてご紹介いたします。

### 投資対象ファンドの状況(2021年4月末現在)

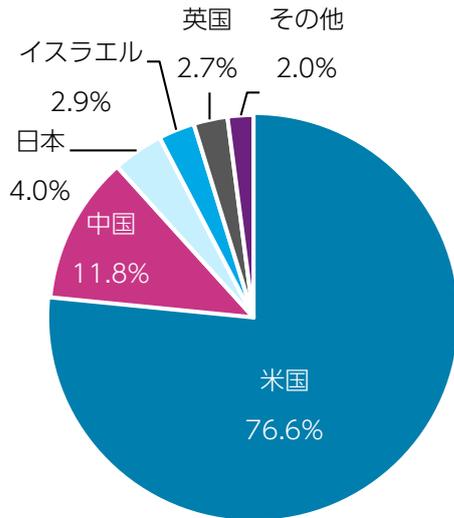
以下は、当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の状況を表示しており、GAMインターナショナル・マネジメンツ・リミテッドの資料(現地月末基準)に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

<組入上位10銘柄(組入銘柄数：50)>

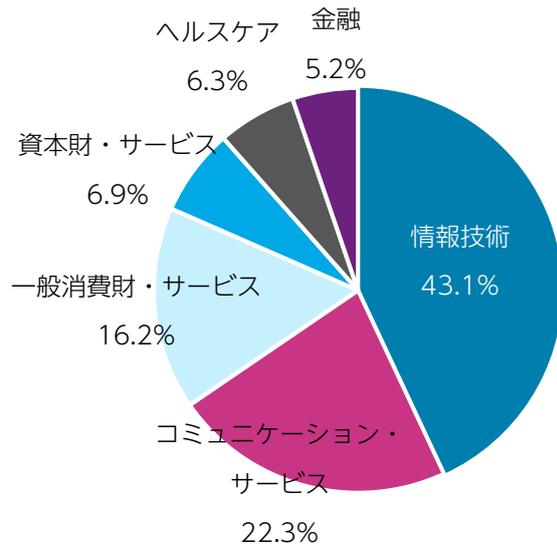
銘柄名	比率	業種		国・地域	投資テーマ
		概要			
アルファベット (A)	8.8%	コミュニケーション・サービス		米国	デジタル広告/ クラウド
		グーグルの親会社。ウェブ検索、広告等を手掛ける。			
フェイスブック	6.6%	コミュニケーション・サービス		米国	デジタル広告
		ソーシャルネットワークFacebookを展開。			
マイクロソフト	4.6%	情報技術		米国	クラウド/ ソフトウェア・ア ズ・ア・サービス
		ソフトウェア製品の開発・製造等を手掛ける。			
リンクロジス	4.4%	情報技術		中国	DeFi(分散型金融)/ ブロックチェーン
		サプライチェーンファイナンス全体のデジタル化サービスを提供。			
シーゲイト・テクノロジー	4.1%	情報技術		米国	ストレージ
		ハードディスクドライブ製造メーカー。データ保存サービスも展開。			
マカフィー	4.1%	情報技術		米国	セキュリティ
		コンピュータセキュリティ関連を手掛ける。			
ウォルト・ディズニー	3.3%	コミュニケーション・サービス		米国	経済活動の再開/ インターネットによ るコンテンツ配信
		世界的なエンターテインメント会社。			
エクスペディア・グループ	3.0%	一般消費財・サービス		米国	経済活動の再開/ プラットフォーム
		オンライン旅行サービス会社。世界各地で事業を展開。			
プラス500	2.9%	金融		イスラエル	フィンテック/ プラットフォーム
		金融サービス会社。差金決済サービスを通じ金融商品を提供。			
マーベル・テクノロジー	2.7%	情報技術		米国	5G
		データセンター等向けの半導体メーカー。			

対組入株式等評価額比。国・地域はGAMインターナショナル・マネジメンツ・リミテッドの分類によるものです。業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

<国・地域別組入比率>



<業種別組入比率>



対組入株式等評価額比。国・地域はGAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの分類によるものです。業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

運用担当者の見通し

新たなデジタルテクノロジー革命の波であるデジタル4.0(第4次デジタル革命)の更なる加速に加え、社会・経済のあらゆるモノ・サービスがインターネット化する動きが引き続き、大きな原動力になると考えています。こうした動きのなか、あらゆるセクターに成長機会がもたらされる可能性があります。特に、デジタルヘルスケア、工場の自動化、次世代輸送、フィンテック、知識労働の自動化、暗号資産といった分野に期待しています。

また、コロナ終息後の経済では、コロナ禍での需要の恩恵によって注目された企業とは対照的に、景気循環関連の銘柄がより大きな成長をするのではないかとみています。私たちは、ディスラプター(創造的破壊者)はマーケットの景気循環的な分野から生まれる可能性が高いと考えており、ヘルスケアのネットワーク効果のほか製造業のインターネット化、輸送のデジタル化など、より製造業と関連の深いテーマにも注目しています。



Mark Hawtin

インベストメント・ディレクター  
運用経験年数 37年  
投資戦略・ポートフォリオ構築・  
リスク管理

2008年10月のGAM入社前は8年間に亘り欧州最大級のヘッジ・ファンドである Marshall Wace Asset Managementのパートナー兼ポートフォリオ・マネジャーを務めた。



David Goodman

インベストメント・マネジャー  
運用経験年数 33年  
テクニカル分析(ポートフォリオ構築  
及びリスク管理へのサポート)

シティグループにて株式デリバティブのトレーディングでキャリアをスタート。その後、SEB, Marshall Wace, Instinet Alpha and Pali International等でシニア・ポジションを歴任。



Amanda Lyons

インベストメント・マネジャー  
運用経験年数 13年  
リサーチ・投資アイデア発掘

GAM入社前はインターネット・エンターテインメント会社Paptureの創業者兼役員を務めた。オックスフォード大学で経済学と経営学の修士号を取得。投資管理資格取得。

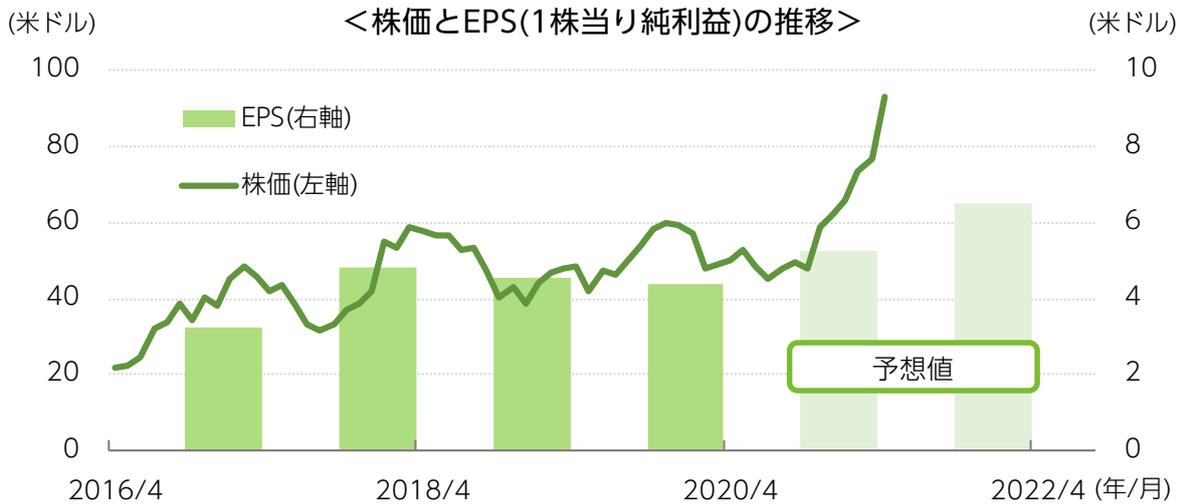
出所)GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 組入銘柄のご紹介①～変化をけん引するディスラプター～

### シーゲイト・テクノロジー(米国)

ストレージ

- 世界的な大手ハードディスクドライブ(HDD)製造メーカー。
- 40年以上にわたり業界のイノベーション(技術革新)を推進してきた歴史を持ち、一般消費者向けから企業向けまで高品質で高性能な製品を幅広く提供する、データストレージおよびデータ管理ソリューションの世界的リーダー。

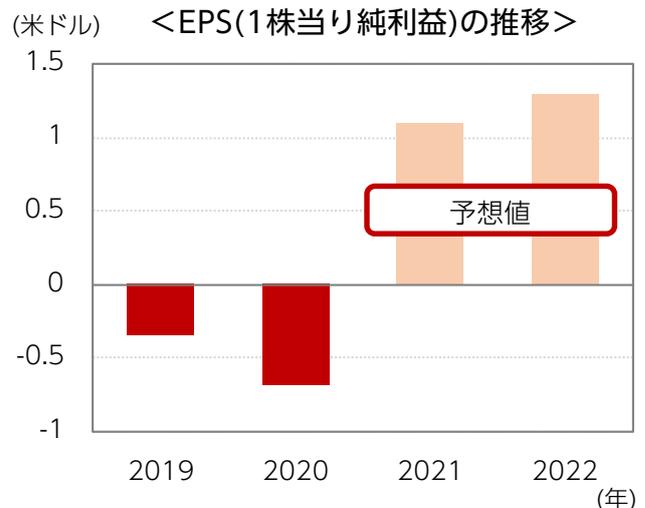


データ期間：株価は2016年4月末～2021年4月末(月次)、EPSは2017年6月期～2022年6月期

### マカフィー(米国)

セキュリティ

- コンピュータセキュリティ関連サービスの世界的なプロバイダー。
- パーソナルコンピュータおよびネットワーク向けのセキュリティ対策製品の開発・販売を行っており、一般消費者向けと企業向けの両方のビジネス領域にわたりコンピュータセキュリティ関連のサービスを幅広く提供しています。



データ期間：株価は2020年10月21日～2021年5月7日(日次)、EPSは2019年12月期～2022年12月期

出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 EPS予想値は2021年5月現在のブルームバーグ集計値  
上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄の保有を保証するものではありません。

## 組入銘柄のご紹介②～なぜ今、主要大型銘柄へ投資するのか～

既にディスラプション(創造的破壊)を起こし大企業となったディスラプターも、次なるディスラプションを起こすため投資を続けており、今後も成長期待が持てるものと考えています。

### アルファベット (A) (米国)

デジタル広告/クラウド

世界最大の検索エンジンGoogleを傘下に持つ。広告マーケットでのオンライン広告への移行という大きな流れを利用して収益を拡大してきており、その収益性を土台として様々なテクノロジー事業に投資しています。

広告事業は依然として大きな成長余地があると考えられ、YouTubeの飛躍的な成長によって、オンラインデジタル広告への移行が遅れていたテレビ広告市場からシェアを奪いつつあります。

#### <今後ディスラプションが期待される事業>

クラウドコンピューティング	自動運転	ヘルステック
<p>グーグルクラウド・プラットフォームによりクラウドコンピューティング・サービスを提供。<u>成長初期段階にあるクラウド市場においてビジネスの拡大が期待</u>されます。</p> 	<p>子会社ウェイモを通じ、自動運転事業に投資。<u>巨大な自動車市場</u>でのディスラプションが期待されます。</p> 	<p>ヘルステック事業を手掛けるベリリーを傘下に持つ。<u>テクノロジーが人々の生活に影響を与える可能性のある分野</u>で継続的に革新していくことに焦点を当てています。</p> 

### フェイスブック(米国)

デジタル広告

世界的な2大ソーシャルネットワーク・プラットフォーム(Facebook、Instagram)と2大メッセージング・プラットフォーム(WhatsApp、Messenger)を所有しており、合わせて34億人以上(2021年4月時点)のユーザーを抱えています。

同社は、巨大プラットフォームを介して生まれる膨大な量のデータを活用し、広告・宣伝ツール、広告・宣伝の効果計測ツール、広告・宣伝の貢献度分析ツールで優位性を持っています。

#### <今後ディスラプションが期待される事業>

Eコマース(電子商取引)	AR(拡張現実)/VR(仮想現実)
<p>既出の4つのプラットフォームで展開するEコマースへの取組みを強化。ECサイト運営会社の取り分だけでなく、<u>プラットフォーム上の広告料収入の増加</u>が見込まれるなど、大きな可能性を秘めていると考えています。</p> 	<p>子会社オキュラスを通じ、AR/VR事業への投資を続けています。短・中期的には収益には繋がらないものの、<u>長期的には次世代のコンピューティング・メカニズムの新たな選択肢を提供</u>すると期待されます。</p> 

出所)GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成  
上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄の保有を保証するものではありません。画像はイメージです。

<ご参考>

**足もとの動向に振り回されるのではなく、  
本質を見極めていくことが必要**

2021年に入ってから、新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗による経済活動の正常化への期待感等によって米国を中心に金利が変動し、その影響を受けて株価も上昇と下落を繰り返しています。

日々の相場の値動きは気になってしまうところですが、資産運用をおこなうにあたっては目先の短期的な相場変動に惑わされることなく、中長期的な大きな流れを掴むことが重要だと考えられます。

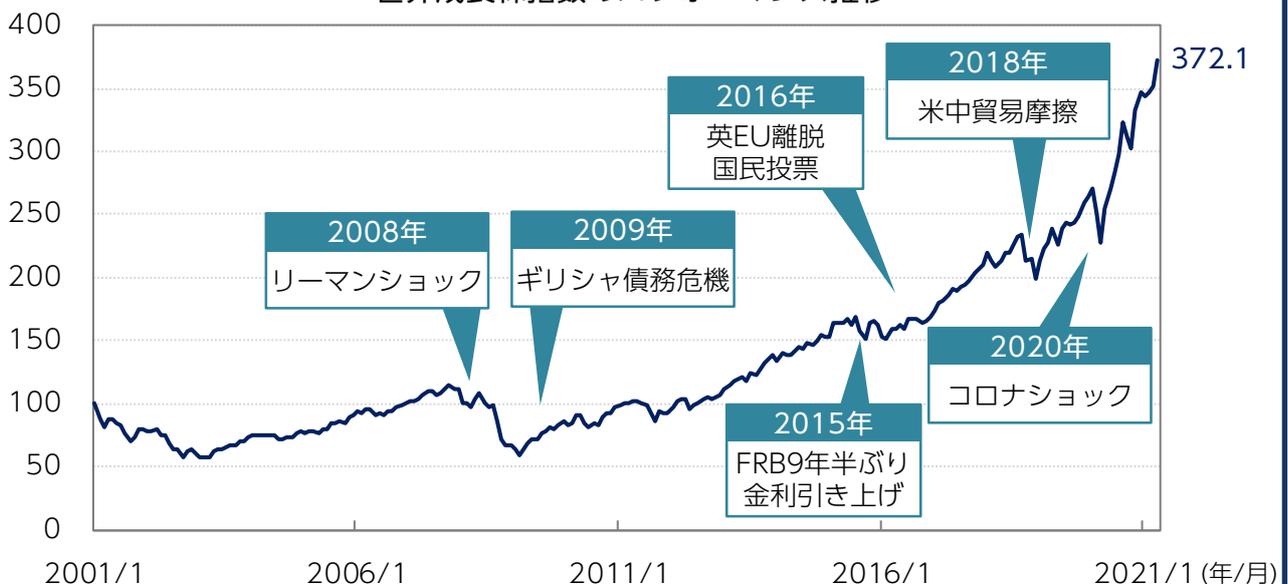
足もとの金利上昇やインフレ懸念の根底にあるのは、「景気が回復する」という見通しです。本来、景気が回復するということは、企業業績を押し上げることとなり、株価にとってはプラスに働くものと考えられます。前回、米国が金利の引き上げを開始した2015年以降、株価は上昇しています。

景気が上向くことで生まれる企業収益は企業の次なる投資を促し、新たなディスラプションを生み出す要因の1つとなり得るのではないのでしょうか。相場が変動している時こそ、足もとの状況だけで判断するのではなく、この先どのように経済・相場が動いていくか本質を見極めていく必要があるものと考えられます。

<期間別の相場の見方の例>

短期的視点	中期的視点	長期的視点
金利動向やインフレ、ワクチン接種進捗度合いの影響を受けた株価変動。 等	コロナ禍からの経済の正常化。抑え込まれていた需要が回復し、景気回復が予想される。 等	景気回復による企業業績の向上。 <u>新たなディスラプション</u> が期待できる。 等

<世界成長株指数のパフォーマンス推移>



データ期間：2001年1月末～2021年4月末(月次) 2001年1月末を100として指数化  
出所)FactSet、各種報道等をもとにニッセイアセットマネジメント作成  
世界成長株指数：MSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み、米ドルベース)

MSCI各種指数は、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## ファンドの特色

- ①日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資します。
- ②決算頻度および分配方針の異なる2つのファンドから選択いただけます。
  - <資産成長型>年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。
    - 毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
  - <予想分配金提示型>毎月決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。
    - 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
    - 収益分配方針に基づき、決算日の前営業日の基準価額(1万口当り。支払い済みの分配金累計額は加算しません)に応じて、以下の金額の分配を行うことをめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当り、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・決算日の前営業日から決算日まで基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。
- ・基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。
- ・販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

## 投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

### 基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

### 主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

- ・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

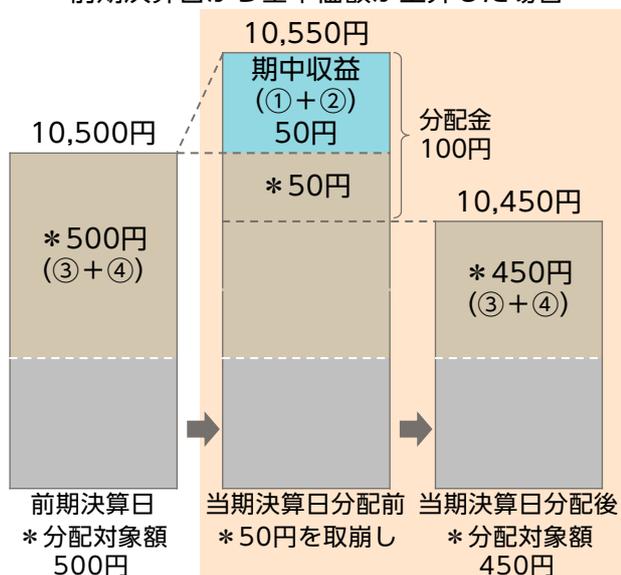
ファンドで分配金が支払われるイメージ



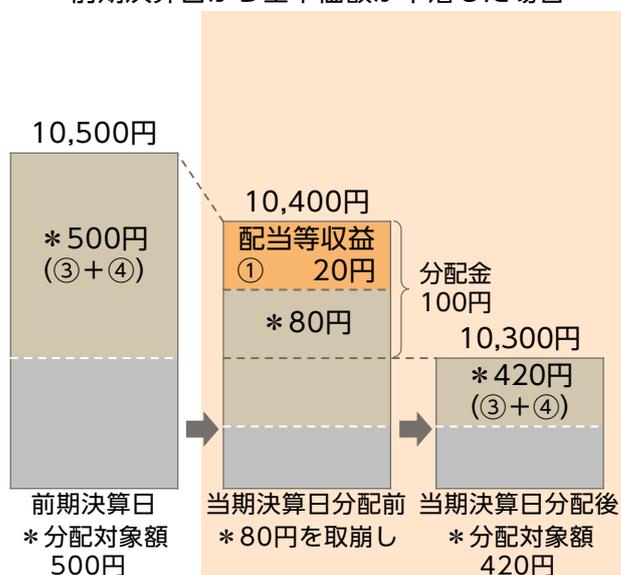
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

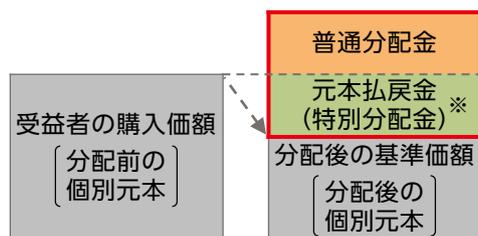


- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益配分方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。  
 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

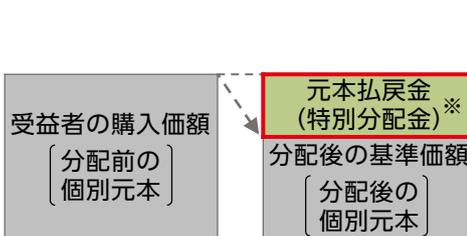
❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
 元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(当初申込期間：1口当り1円)に <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.1825%(税抜1.075%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。	
		<table border="1"> <tr> <td>投資対象とする 外国投資信託証券</td> <td> <b>基本報酬</b> 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。 <b>成功報酬</b> 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。                 </td> </tr> </table>	投資対象とする 外国投資信託証券
	投資対象とする 外国投資信託証券	<b>基本報酬</b> 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。 <b>成功報酬</b> 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。	
<b>実質的な負担</b> ファンドの純資産総額に <b>年率1.8975%(税込)程度</b> をかけた額に <b>成功報酬</b> を加えた額となります。 ●上記料率は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、外国投資信託証券に年間最低基本報酬額等がかかる場合、その純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。成功報酬は、ファンドが投資対象とする外国投資信託証券において、その運用実績が良好であった場合にかかる費用です。			
監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。		
随時	その他の費用・手数料	組入価値証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

- ❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。  
❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品 取引業者	登録金融 機関	登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○

- 販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

## ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会	ファンドに関するお問合せ先
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	三菱UFJ信託銀行株式会社	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： <a href="https://www.nam.co.jp/">https://www.nam.co.jp/</a>